

三田市教育振興基本計画検討委員会（第5回） 会議録

日 時	令和3年8月19日（木） 午後7時から午後8時40分
開 催 場 所	三田市役所南分館6階601会議室
出 席 委 員	佐藤 真、中間 玲子、仲矢 史雄、尾上 尚司、大東 真弓、藪田 昌夫 下中 邦昭、橋本 真由美、松本 衣里香、岸本 高太郎
欠 席 委 員	—
学 校 関 係 者	谷本 正弘、岡崎 正文、吉田 裕彦、廣瀬 みちか
事務局出席者	（教育長）鹿嶽 昌功 （学校教育部長）松下 修 （地域創生部市民協働室長）曾根 義隆 （子ども・未来部子ども未来室長）横溝 裕香子 （子ども・未来部子育て応援室長）西垣戸 泰 （学校教育部次長）外岡 明文 （教育総務課長）浅野 晋司 （学校教育課長）山本 直也 （教育支援課長）山口 貴久 （教育研修所長）小山 恵介 （教育総務課担当課長）上野 樹 （学校教育課主幹）神戸 康正 （教育総務課主任）鈴木 さやか （教育総務課指導主事）松田 成行
議 題	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 （1）前回（第4回）会議録について （2）前回（第4回）委員意見について （3）計画素案について 4 次回予定 5 閉会
傍 聴 人	2名

会議の概要

事務局(司会)	1 開 会 皆さんこんばんは。ただいまより第5回三田市教育振興基本計画検討委員会を始めさせていただきますが、開会に先立ちまして、三田市教育長の鹿嶽より、一言ご挨拶を申し上げます。
教育長	皆さんこんばんは。本日はお仕事等でお忙しい中、お越しいただきありがとうございます。報道等で皆さんはご存じかと思いますが、8月の初旬に、三田市立の小学校に勤める教職員が、2日間4名と6名で、同僚宅でお酒を伴う会食を行ったことによって、新型コロナウイルスに感染いたしました。 本来でしたら、学校内での感染防止に努め、また子どもたちに対しても、感染防止に対する指導啓発を行うべき教職員がこのような軽率な行動を行ったことに対して、お詫び申し上げたいと思っております。 この事態を我々自身も深く受け止めて、今後はさらに襟を正して、子どもたちが学校で安心して過ごせるように努めてもらいたいと思っておりますので、皆様のご理解をどうかよろしくお願ひしたいと思っております。 さて本日は教育振興基本計画検討について、限られた時間ではございますが、皆様からご意見をいただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひします。
事務局	それでは改めまして、ただいまから第5回三田市教育振興基本計画検討委員会を開会させていただきます。皆様におかれましては、大変お忙しい中参加いただきましてありがとうございます。本日司会を担当させていただきます、三田市学校教育部次長の外岡でございます。どうぞよろしくお願ひします。 本日は委員の皆様全員のご出席をいただいております。三田市教育振興基本計画検討委員会の規則第3条第2項の規定によりまして、会議が成立していることをここでご報告いたします。 それでは第1回委員会におきまして会議の公開についてご承認をいただいたところでございますが、会議の傍聴要綱に基づきまして、希望者に対して傍聴を許可することをご承認いただきたいと思ひます。現在2人の方がいらっしゃいます。それでは委員会の開会にあたりまして、佐藤委員長よりご挨拶をお願ひいたします。
委員長	2 委員長あいさつ (挨拶)
事務局	ありがとうございました。それでは議事に入る前に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。まず、資料1の第4回の会議録、資料2の第4回の委員意見について、資料3の第3期計画の骨子案として3種類用意しています。お手元にありますでしょうか。それでは進行を佐藤委員長にお願ひしたいと思ひます。委員長、よろしくお願ひします。

<p>委員長</p>	<p>3 議事</p> <p>(1) 前回(第4回)会議録について【資料1】</p> <p>では、レジュメに従いまして進めさせていただきたいと思います。前回は基本施策の5から10について議論をいただきました。事前に事務局から第4回の議事録をいただいております。資料1でございます。すでに委員の皆様にご確認いただいていると思いますが、内容はこれでよろしいでしょうか。(異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>(2) 前回(第4回)委員意見について【資料2】</p> <p>それでは前回(第4回)意見委員について移りたいと思います。第3回、第4回で基本施策の1から10までの内容について一通り審議いたしました。</p> <p>本日は、事務局から用意いただいた修正案を審議したいと考えております。最後の第6回の審議に向けて議論を詰めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは前回の委員会で、議論をいただきました内容について、事務局に検討した結果についてご説明させていただきたいと思います。それでは説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは資料2について、各委員の皆様からご意見やご質問をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ずっと読ませていただいて、よく整理していただいたと実感しております。ただ、計画冒頭のところに、5年間の計画ですので、5年の間に進めるタイムスケジュールのようなものが、どこかに出てくる必要があるのか少し気になりました。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局はいかがでしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>それぞれの項目、施策について、毎年項目に対する評価指標を設け、毎年教育委員会の点検評価をさせていただいております。その目標に向かって、5年後の目標数値を達成できるように取組を進めていくということを考えております。</p> <p>具体的に何年度にどこまでという途中経過や、1年ごとに何パーセントという目標数値など、そのようなことは示してはおりません。5年後の姿ということで目標数値として掲載をさせていただくということで考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>79ページの10学びを支える環境の整備のところ、まったく前と変わっていません。トイレのことと、子ども110番の家のことです。</p>
<p>事務局</p>	<p>例えばトイレのことですが、黒字で記載しております。これは第4回の時と変わ</p>

<p>委員長</p>	<p>っていないということであり、トイレの洋式化の整備というのは第3期の計画で初めて出てきた数値目標でございます。</p> <p>第2期の計画では、この目標数値は出ておらず、第3期で初めて出てきた数字ということです。3期と2期とでこの数値を比較する表で示せたらよかったです、新しい項目も入ってきているので、ご理解いただけたらと思います。</p> <p>例えば、ロングスパンや、ショートスパン、1年ごとの計画や5年間などそういうのは別にある、または、それはこれからということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>5年間の1年ごとの計画は特にはないですが、毎年教育委員会で、指導の重点などを冊子にして、教職員に配布しています。今年重点的な取組や、この振興基本計画に基づいた取組を、今年はこのようにやっていくという冊子を毎年作成し、配布して示しているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>実行の可能性の問題を取り上げられたと思います。書いたことの実行可能性が有効に働くようによろしくお願いします。ほかいかがでしょうか。なければ次の議事の(3)に移らせていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>(3) 計画素案について</p> <p>計画全体を通してこれから議論を始めたいと思います。長いので計画全体を3分割にして議論を進めたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>はじめに第1章から第3章まで約10分をめぐり、第4章は長いので、施策1から6までを25分ほど、第4章の施策の7から10、5年間の目標一覧の最後までを25分で行きたいと思います。</p> <p>まず第1章から第3章までお読みいただいて、1ページから、17ページまでですが、そこまでを通して各委員の皆様からご意見ご質問をいただきたいと思います。第3章までをよろしくお願いします。</p>
<p>学校関係者</p>	<p>内容についてはよいのですが、全体を読み進める中で16ページの後半部分に基本施策が6つ並びますが、読み手は左から右に読み進めます。縦に1、2、3と並ぶのはいかがなものかと思います。</p> <p>それから17ページの1行目も読み進めるうちに、「推進するために」の「ために」はどっちを指しているのかずいぶん考えました。前の「そのために」を活かすならば、「学校長のリーダーシップの下、特色ある教育を推進し、」としてもよいのではないかと感じました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。そのように修正させていただきます。まず基本施策の並びの、1があつて横に2、また左に3という並びに修正させていただきます。それ</p>

	と、教育を推進し、というところを変更させていただきます。ありがとうございます。
委員長	ほかいかがでしょうか。
学校関係者	表記についてです。 3ページの中ごろにある、学びに向かう力・人間性の次のところに「等」という漢字が抜けているのではないかと思います。
委員長	3つの柱の最後です。
事務局	ありがとうございます。訂正をさせていただきます。
委員長	ほかにいかがでしょうか。
委員	表記についてですが、5ページの下から4行目の「子どもの将来だけではなく、現在に向けた子どもの貧困対策をする」という表現がしっくりきません。
事務局	わかりにくい表記となっておりますが、国がおおよそこのような表現をしております。子どもの貧困対策は、世代間に連鎖しないということで法律ができましたが、将来だけではなく現在も何とかしないといけないということで改正された経過があります。 しかし、一般的に読むとわかりづらいので、現在にも配慮した表現に変えていきたいと思います。ありがとうございます。
委員長	ほかいかがでしょうか。
委員	外を見ると水の量が増えていると思います。三田市の防災計画があると思いますが、11ページの教育を取り巻く状況や、大規模災害からの教訓などそういうところに、防災計画が三田市では制定されていて、それを小学校中学校でも当然避難所になりうる話は想定されますので、そのことは一言でも触れておいた方が、今後防災教育を進めるうえで、裏付けになっているのではないかと思います。
委員長	事務局お願いします。
事務局	ご意見ありがとうございます。確かに表記としては、今まで起こった震災等の表記だけになっております。身近なところでの防災教育、また子どもたちに期待されるような活動もございますので、今いただいたご意見を参考に、小中学校も避難所になっていることも踏まえて、少し表記を検討させていただきます。

委員長	<p>ほかにいかがでしょうか。いったん終わって、最後に戻ります。次の第2段階の第4章の基本施策の6までです。18 ページから 52 ページまでをお読みいただきます。</p>
委員長	<p>忘れるといけないので気づいたことを最初に言うておきます。18 ページの漢字の「良さ」はこれでよろしかったのですか。</p> <p>学習指導要領では「よさ」はひらがなを使っています。よさや可能性という言葉を使って、良い悪い、の良いは漢字を使っていないと思いますがいかがですか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。確認して直させていただきます。</p>
学校関係者	<p>38、39 ページをお願いします。一人一人が大切にされる教育の充実ということで、前々回の時に意見を言わせてもらったものが、資料の方にも書いてもらっています。おそらく言い方が悪くてうまく伝わってなかったと申し訳なかったです。</p> <p>インクルーシブ教育というものを対応したほうが良いと書いてありますが、逆にインクルーシブ教育システムという言葉でまとめられたような印象です。</p> <p>インクルーシブ教育システムという言葉は、一般市民の方には何のことかわからないと思います。</p> <p>現状と課題のところの最初の丸の上から4行目にインクルーシブ教育システムの構築は不可欠という言葉でまとめられていますが、これではわかりにくいと思います。</p> <p>それから、3つ目の丸の一番下の行にも、多様な交流活動を計画的かつ、継続的に進めるインクルーシブ教育システム構築の重要性がうかがえます、とまとめています。</p> <p>あえてインクルーシブ教育システムの構築という言葉が入らなくても、上の方でしたら、共生社会の実現に向け、交流及び共同学習の充実を図りというような流れで読めるのではないかと思います。</p> <p>下の方も多様な交流活動を計画的かつ、継続的に進めることの重要性がございませうという言葉でも通じると思います。</p> <p>インクルーシブ教育システムというのは、どういう意味で使っているのか、疑問に思うところがありますので、あえて使わなくてもいいと思います。</p> <p>39 ページも同じように、「共に学び、共に育つ」教育を推進します、と入れておきながら、インクルーシブ教育システムの構築を推進し、とたたみかけているように入れています。これがどういう意味で使われているのかわからないので、あえてこれを入れなくてもよいのではないかと思います。そこも飛ばして、子ども一人一人の自立と社会参加に向け、ということで進めてもよいのかと思います。</p> <p>それから、同じところの1段落目と2段落目が、同じような内容で段落を分ける必要があるのか疑問に思います。</p> <p>前回書いてもらっていた、線を引いて残してもらっている部分の、子ども一人一人の自立と社会参加に向けた効果的な指導・支援の充実を図るために、授業のユニ</p>

	<p>バーサルデザイン化、個に応じた学びを実現という言葉を残しておいて、実現できるように職員の特別支援教育に係る理解を深め、指導力の向上を図りますというような目的にすると、これが後の施策の方とリンクしてくるのではないかと思います。</p> <p>あとの2つもまたで言って、段落を変えて、医療的ケアを含む多岐にわたる教育的ニーズを、さらにというような伝え方をすれば、この施策の方向と、後に出てくる主な取組との関連性がすっきりすると思いました。</p>
委員長	事務局をお願いします。
事務局	<p>先ほど指摘を受けました、インクルーシブ教育システムという言葉ですが、確かに一般の方が聞くとわかりにくいと思います。</p> <p>また5年間の施策ということで、国でもインクルーシブ教育システムという言葉を使っているところもあり、インクルーシブ教育システム構築をしていくことによって共生社会の実現を目指していくためには、この仕組みづくりは欠かせないものということで、このような表現をさせていただきました。</p> <p>ただ、先ほど言われましたように、この前お聞きしたご意見の中で、少しとらえ間違いをしているところもあるかと思います。もう少し平易な文章で、仕組みづくりは大事なものだということを書き表すことを考え直したいと思います。</p>
学校関係者	<p>インクルーシブ教育システムと言えば、共に学ぶ仕組みであって、その時点のニーズに最も的確にこたえる指導を提供できる多様で柔軟な仕組みということです。インクルーシブ教育システムについて触れているというのは、施策の方向の中の最後の部分に、多様な教育的ニーズにこたえることが出来るよう連続性のある「多様な学びの場」の整備というところが一番それに近いと思うので、整備と充実を図り、インクルーシブ教育システムを推進しますというような終わり方ならすっきりするのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいたように、インクルーシブ教育システムの構築という言葉がいたるところに出てきてしまっていることで、わかりにくさを増幅しているということです。最後の部分に仕組みづくりが大事だということをまとめる意味で、インクルーシブ教育システムの構築という言葉を入れさせてもらって、前半の部分についてはもう少し平易な文に書き直していきたいと思います。</p>
委員長	索引や注はつきますか。用語解説のようなものが最後につきますか。
事務局	つきます。
委員長	必ずそういうことは注釈をつけていただければ、一般の方も読めると思いますので、よろしくをお願いします。少なくとも38ページの一番下インクルーシブ教育シ

	<p>ステム構築は、これは1単語ではないので「の」は入れたほうがいいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>今読んでいて気づいたのですが、ユニバーサルデザイン化という言葉はありますか。個別最適化された学びを個別最適な学びから変えたと思うのですが、化をつければ良いのですか。そこをご確認していただければと思います。ユニバーサルデザイン化という言葉はあるのですか。</p>
事務局	<p>少し調べさせていただきます。</p>
委員長	<p>ほかにいかがですか。</p>
委員	<p>19 ページの中ですが、1点目のふるさとの良さに気づき、三田を好きになる視点というところで、最後の段落で将来この三田での学びが「自分の子どもに同じ経験をさせたい」「三田で教育を受けさせたい」と次の世代へつながることを願いと書いてあります。</p> <p>自分の子どもだけなののでしょうか。多くの子どもたちが三田で教育を受けたいと思うような表現にしないと、住宅案内のようなものになってしまう感じがします。もっと崇高なものだと思うので、他市で育った子どもも三田で子ども育てたいと思うような、三田の教育にするというところで、自分の子どもという点が気になりました。</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
委員	<p>もう一点、48 ページの外国語（英語教育等）が入っていますが、小中学校で英語教育以外の外国語の教育等というのは、他の教育もあるのかと聞きたいところです。</p>
事務局	<p>学習指導要領では、外国語という表記でされておりまして、その主な外国語としては英語と扱っております。そういうことで外国語（英語教育等）という表記をしました。</p>
委員	<p>等ということは他の言語もあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>数年前までは、外国語は英語に限らないということですが、ご指摘のように主に英語ですので、英語等という言葉は不要と思いましたので、削除するかここで検討させていただきます。</p>
副委員長	<p>今のところに関して少しだけ反応させていただきます。5年間続くということ考えたときに、教科として英語があるかもしれませんが、さまざまな外国のルーツ</p>

	<p>を持つ子どもなど、グローバルという項目ですので、英語に特化、限定しないほうがいいのではないかというのが私の意見です。</p>
事務局	<p>教科ということで想定をしておりましたが、ご指摘のように、教科に限らず、さまざまなルーツを持つ子どもたちもおり、そうした意味では、多くの言葉を活かすということも大事だと考えた次第です。</p> <p>多くの言葉を残す形で検討させていただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>これは小学校の外国語ですね。英語は中学校、小学校の高学年は英語ですが、そこは表記上確認をしてもらえますか。これは文脈からすると、カリキュラムについて書いてあることであって、今の話は国際理解教育などのもう少し大きい話になってきます。文脈からして違うと思うので、そこを確認して検討してもらえますか。</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
委員長	<p>ほかに何かありますか。</p>
委員	<p>42 ページの教育の機会の均等のところです。教育の機会の均等というと、現状子どもの貧困がありまして、経済的なことが主な要因であります。もともと教育機会の均等というのは、例えば社会的な立場など、それに関わりなく、教育を受けられる機会が提供されている。経済的な事象だけを解決すれば、機会を均等にできるという点は、危うい点があります。</p> <p>ここに書かれていることは、経済的な負担を支援しますというのは、三田市の重要な施策というのは確かであります。今の問題で言うと、ネグレクト・DV など家庭の事情で、教育を受けられる情報が子どもたちに行き届かない場合があるのではないかと思います。それをもう少し視野に入れたほうがいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>私も前段階では気づきませんでした。教育の機会の均等といった場合は、そこも含んでおり、施策上どこの教育委員会も市町も経済的な問題、貧困の格差はあると思いますがネグレクトの問題や、今だとヤングケアラーの問題が非常に大きいと思います。いろいろありますので、もう少しよく考えたほうがいいのではないのでしょうか、私も気づかなかったので大変ありがたいです。そういう点も大きく考えたほうがよろしいと思います。検討よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。確かに教育の機会の均等と言いながら、経済的な理由だけに絞り込んでしまい、視野が狭いという指摘をいただきました。国の大きな流れなど、昨今の子どもの状況を十分考慮した中で、この計画を作っていく必要があると思いますので、いただいたご意見は視野を広げながら再考させていただきます。ありがとうございます。</p>

<p>学校関係者</p>	<p>25 ページの（２）の●の一つ目が、何のことを言っているのかと思いました。次のページを読めばわかりますが、小学校高学年における専科指導・教科担任制の推進だろうとあとでわかりました。唐突すぎて何のことだかわからないと思いますので、少し工夫いただけたらと思います。</p> <p>そして21 ページに出てきますが、上から9行目に「教職員の資質の向上」があります。あとの方を読めば、教職員の資質・能力・指導力など、色々な書きぶりがあるのが気になりました。</p> <p>それから21 ページ一番下の●、下から3行目に、「毎年実施している」とありますが、学力調査は毎年実施できていませんし、次のページの上から二つ目の●の書きぶりが一番わかりやすいです。ほかのページも学力調査について書かれていますが、このように22 ページの二つ目の書きぶりですべていただければ、他も読み取りやすいと思いますので、同じように書いていただけないでしょうか。21 ページの下から3行目であれば、「毎年実施している」ではなくて、「また、「全国学力・学習状況調査」において、本市では「自分で計画を立てて勉強している」と答える子どもの割合は毎回高く、…」等にしていただければよいのかと思いました。</p> <p>次の22 ページ、私は同じ語句が続くと気になります。上から3つ目の●の2行目に、「子どもの教育について関心のあることについて」…と書いてありますが、この6行の内容が分かりづらいので工夫していただけないでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。ここの書きぶりについて、整合性を取るなど、わかりやすい表記に修正をまいります。</p>
<p>学校関係者</p>	<p>ちなみに24 ページの第2段落の学力テストとありますが、24 ページの学力テストも、全国学力学習状況調査のことを言っている。一回通してみてください。あとは書きぶりの問題もご検討いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>25 ページの理科教育の推進ですが、黒い字のところの子どもに科学の素晴らしさや楽しさを体験させる機会を充実する部分ですが、ここだけ子どもが目的格になっています。</p> <p>子どもが科学の素晴らしさや楽しさを体験できる機会を充実するなど、そのような形で、表記の方法を少し考えていただいたほうかと思いました。</p> <p>もう一つはさきほどの外国語（英語等）、48 ページは、ここはグローバル化のところに出てくる場所です。私は実は、英米法学科を卒業でございまして、米語というものもございまして、以前ここでご質問させていただいた中で、外国人の先生方はどこからいらっしゃるかと伺い、アメリカ、カナダという言葉が返ってきました。フィリピンの子どもたちにとって、フィリピンの英語も、もちろん一つの英語ですし、さまざまな形での英語の先生の配置もこれから検討していくことが必要ではないでしょうか。グローバルエデュケーションのところにおいては必要ではないかと思えます。</p>

委員長	<p>ありがとうございます。これも検討していただければと思います。それでは一度ここで切ります。53 ページから 79 ページまで、5 年間の目標、一覧も含めて、ご検討いただければと思います。</p>
学校関係者	<p>53 ページ、学校組織力の向上です。学校で組織力というところにポイントをおいて、いかに向上させるかというところですか。</p> <p>ここの現状と課題を読みますと、ピン트가ずれているというか、なぜ今学校組織力を高らかに求めていくのかという部分を考えてときに、現状としては、子どもを取り巻くさまざまな課題が多岐にわたってきています。</p> <p>生徒指導の時だけではなく、学習指導もありますし、児童虐待も先ほどから出ていますが、DV や子どもの貧困など多岐にわたってきています。保護者対応も含めて、これまでは個々の教師の力で対応してきました。ところが、今はそういう状況がいっぱい出てきている中で、個々の教師では対応できなくなっています。そういう部分が現状としてあるのではないのでしょうか。</p> <p>学校組織として対応していくことが子どもたちの教育や人権を守るという点では大切であることを、現状と課題に入るべきではないかと思います。</p> <p>いつも学校で話をしますが、これまでは担任一人が責任を背負っていた部分がありますので、責任の重さに耐えきれずつぶれてしまいます。組織で取り組むということは、一人ではなく、複数で同じ課題に取り組んでいきますので、責任分担をしていくわけです。そういうことによって、ひいては先生一人一人のメンタルヘルスの部分でも非常に有効ではないのでしょうか。</p> <p>組織力をこれから大事になってくると思います。そういうところを現状と課題に入れ、また施策の方向には、迅速に対応できる体制の構築をめざしますとありますが、その辺のこれまでの学校では対応しきれない、これからはこういうことが必要だということを追記する必要があると思います。</p>
事務局	<p>ご指摘ありがとうございます。ご指摘の通り、個の力と、組織の力を両方伸ばしてはじめて教職員としての力が最大限発揮できるものと承知しております。</p> <p>今のご指摘を受けまして、そのバランス等文章で反映できるように修正をさせていただきます。</p>
委員長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>54 ページの、教職員の指導力向上のところ、感じたことを話します。</p> <p>私も研修を依頼されることが結構あります。子どもたちに情報機器をどのように使うか、情報モラルの指導をどのようにしたらいいのか、そういうリクエストがあります。</p> <p>子どもがタブレット端末を家に帰ってきてくることを受け、使い方をどのように教えた方がいいのかと保護者から聞かれて、先生自身も困って、教育委員会の方にい</p>

	<p>き、私のところに依頼がくるということがあります。</p> <p>一つは情報モラルの指導ニーズに応えるというのが、今の時代一つどこかにあってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>資質・向上をこのようにさせます、子どもたちに体験させますというよりも、子どもたちが充実した体験ができるように、主体を子どもたちに持っていくという考え方が別にあるとすれば、先生たちが望む研修がどのようなものなのか、ということ拾う仕組みを設ける部分もあってもいいのではないかと思います。</p> <p>それを応えていけば、現場の先生たちも「教育委員会の研修って受けてみたいな、ニーズに応じてくれているな」というようになるのではないかと思います。</p> <p>ご検討いただければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。私は全く逆の考えです。やりやすいものだけをやらせても駄目だと思っていて、やりにくいものもやらせないといけないと思っています。そこはいろいろな考えだと思います。</p>
事務局	<p>41 ページに、生徒指導の充実があります。41 ページの表の中になりますが、情報モラルに関する教職員の指導力の向上といった言葉が入っております。どちらに表記をするのかも含めまして、検討させていただきたいと思いますが、こちらには一応情報モラルに関する研修のことについては触れています。</p>
委員	<p>ここまでは目が行き届きませんでした。</p>
委員長	<p>55 ページの6行目あたりに、ICT 機器を活用した授業づくり、効果的なオンライン授業の方法も含めたと書いてありますので、そこにモラルの問題も一つ入れたほうが、それで済むのではないかと感じます。要点をそこにおいてください。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。そのようにさせていただきます。</p>
委員長	<p>ほかはいかがでしょうか。</p>
学校関係者	<p>78 ページをお願いします。5年間の目標のところですが、7の信頼される学校づくりの推進の上から2つ目、教育研修所で研修した教職員数で、おそらく研修所が設置されて、今までの参加人数が5,865名だと思いますが、5年後の目標が6,000とあがっていますが、8,000の間違いではないかと思います。</p> <p>それから、77 ページの、1番上の特別支援教育研修講座受講者数、こちらは目標が1,500名ですが、令和2年度末までにこの講座は131人しか受けていないと、取られてしまうと思います。おそらくもっとたくさんの方に受けられていると思います。ほかのところの記載を見たら、令和2年度はという書き方で書くか、目標自体を横に書いてあるように、年間300人という書き方でもよいのではないかと思います。</p>

事務局	<p>まず 78 ページの研修所の目標ですが、委員のご指摘の通り、累計となりますので、令和 8 年度には 8,000 程度の目標値になると思います。そのように修正させていただきます。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>77 ページの特別支援教育研修講座受講者数のところですが、131 名と書いております。上の表に令和 2 年度と書いてあります。これはコロナの影響で令和 2 年度は研修会等を縮小せざるを得なくて、受講者数は 131 名だったという意味です。</p> <p>ですので、今後 5 年間の目標値としては、1 年間に 300 名の受講者を見込んで、5 年間で 1,500 名の受講者を目標としたいということを書いてあります。</p>
委員	<p>数字の表記が、延べになっていたり、年間だったりと統一されていないので、見るほうも混乱します。例えばこちらの学校支援ボランティアの延べ活動日数、これも累積ですか。その辺り、比べにくいので統一していただけるとわかりやすいと思います。</p>
事務局	<p>令和 2 年度と令和 8 年度の目標が、目標値の基礎がバラバラであるということで、わかりにくい表記で申し訳ありません。延べならば、延べということで、どちらも令和 2 年度、8 年度の表記については合わせるようにさせていただきます。数値をもう一度見直して提案させていただきます。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。私も改めて見て、必ず 100% でないといけないこともあるはずです。</p> <p>例えばいじめの問題については、77 ページだとどちらも 100% になっています。一人でもいじめはオクケーだという子どもははいけません。ただほかのところで微妙に違っている数字について委員の皆様を確認をしていただきたいです。</p> <p>正当な根拠があるかという問題よりも、妥当性の問題が非常に多いと思います。皆様がこれで納得できるかどうかを確認していただければと思います。</p> <p>次に、5 の 2 番目の英語で自分自身の考えや気持ちを伝えあうことが出来ていたというのが、8 月に学力調査の結果がきますので、それを見ないとわかりませんが、中 3 で 68.2% です。この目標値は 70% です。5 年間で割っていくと何%以上あがればいいのかという感じになります。</p> <p>その点は、私が事前に見ていて、妥当数字だと思っていましたが、5 年間って細かくショートスパンで見た場合、なかなか難しいところもあるので、皆様納得できるような形でもう一回見直してやれば良いと思います。</p> <p>委員の皆様はもう一度見ていただければと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。目標数値について、5 の 2 番目は、参考としまして 31 年度の全国区平均が 62.9% ということで、三田市の場合は令和 2 年度時点で</p>

<p>委員長</p>	<p>68.2%ということで、全国平均と比べると高いということになっております。</p> <p>事務局でも 70%が果たして良いのかどうかを検討しましたが、何%が適切な目標かということは、難しいところではあると思います。計画を作成するたびに、目標値をあげる、70 を超えれば当然 5 期で 80%かという話にもなります。そのあたりの数字については、どれがいいのかというのは難しいですが、今よりも改善というところ、切りのいいところでの 70%で、特に根拠があつたりするわけではないです。そのような考え方で今よりも良くということで記載をしております。ご意見をいただけたらと思います。数値については精査してまいりたいと思います。</p> <p>私も客観はないと話しましたが、国も客観性ということについては評価に使っていません。妥当性を使っています。少なくとも私の意見としては、小学校の 75%が中学校で 70%に下がるという、発育発達論から考えると、上に行くほどしぼんでいくのかということになります。同じ数値にしてもいいのではと思います。どちらも 70 にするか 75 でもいいと思いました。ご検討いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>目標値のことですが、この目標の 78 ページの 7 番の 4 つ目の組織率です。現状 21.7%で目標は 20%以上という、説明に現状維持を目指したいと書いてありますが、今より低い数値を目標にするのはどうかと思いますので、考えてもらいたいと思います。</p> <p>54 ページの下から 2 行目の学校での OJT を基本としつつも、という表記がありますが OJT が何かわからないので、書き方を変えてもらいたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>わかりました。OJT の書き方を日本語にするなり、カッコがきにするなり修正します。</p>
<p>事務局</p>	<p>78 ページの 7 番の組織率のご指摘をいただきました。これは何の組織率かと申しますと、研修・研究グループの組織率になります。それが少しわかりにくいと思いました。さらに目標値が下がっているということですので、20%程度は教員が参加するということを目指していたわけですが、表記の仕方を少し考え直します。ありがとうございました。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは全体を通してご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>41 ページの施策の方向のところ、スクールカウンセラーの活用が出てきますが、施策の方向の中で、スクールソーシャルワーカーさんのことを文章化してほしいと思います。次のページにソーシャルワーカーのことは枠内の表にはありますが、スクールカウンセラー以上にソーシャルワーカーの力が、貧困や家庭の状況の中で、ソーシャルワーカーの存在がスクールカウンセラーと並べて書かないといけなくなっていると思います。</p> <p>それと、ソーシャルワーカーさんは週 1 で中学校区をやっておられて、活動が浸</p>

	<p>透できていなくて、貧困や家庭の事情など様々な事情があって、一人の子どもに関わるだけでも、すごく関わらないといけないのに、中学校校区に週1だけというのは、ここをもう少し目標値のところから全校にソーシャルワーカーを配置して週4日くらいのことをしてもらわないと、と思います。教職員が困っていることの助けにもなると思いますし、その辺の目標をはっきりと書いていただきたいです。</p> <p>地域としても結構関わりますが、カウンセラーだけでは収まらないことが、いっぱい私たちの周りにはあるので、そこに力を入れてもらうというところを施策の方向の文章の中にも入れてほしいと思いました。</p>
事務局	<p>おっしゃっているようにスクールカウンセラーもスクールソーシャルワーカーもそれぞれ担当する分野が違って、スクールカウンセラーについては心理的な面、スクールソーシャルワーカーは福祉的な面ということで、両方共学校にはなくてはならない専門スタッフとして位置付けていると理解しております。</p> <p>チーム学校とよく言いますように、組織を高めるために機能的に動いてもらっているところでもあります。配置の日数や回数がどの程度が適切なのかは、考えていかなければならないと思いますが、41 ページの施策の方向については、スクールカウンセラーの活用に加えてスクールソーシャルワーカー等の状況についても加筆することをまた考えていきたいと思います。</p>
委員長	<p>よろしく願います。ほかいかがでしょうか。</p>
学校関係者	<p>51 ページの表の中の一番下、「市立幼稚園の預かり保育の充実」と、77 ページ一番下、「預かり保育の実施日の拡充」を比べますと、預かり保育の表記が51 ページの取組内容の部分のみ、子育て支援型が入っています。</p> <p>現在市立幼稚園で行われている預かり保育は2時に園児が帰ってから4時半までなので、子育て支援型と呼ばれているものです。計画にあえて子育て支援型というのを入れるより、すべて統一の預かり保育のみの表記でもいいのではないかと思います。5年後、4時半までの預かり保育というニーズが合っているのかと言え、今も合っていない現状ですので、そのあたりを統一していただきたいと思いました。</p> <p>また、預かり保育の取組内容について、77 ページのとおり、令和2年度は週3が2園、週2が7園、令和3年度は、全園週3日にはなっておりますが、令和8年度の目標は、全園週5日になると思います。</p>
事務局	<p>ご指摘の部分もございますので、検討して修正を加えてまいりたいと思います。</p>
委員長	<p>よろしく願います。ほかいかがでしょうか。なければ今日はここまでにしてよろしいでしょうか。</p> <p>最終会までご検討いただいても結構ですので、資料お持ち帰りの上、読み返していただければと思います。それでは本日は予定よりは早いですが、これで終わりました。</p>

いと思います。

最後に私から、お話したいと思います。私は、今日ネクタイをしましていました。ズームでずっとやっています、実はズームというのはオンラインの場合だとオフラインよりラフな格好で普段やっているわけです。それがオンラインらしいと思ってやっています。今日はこの格好でした。というのは北海道教育大学の旭川校と一緒にズームをやっています、皆様ご承知かもしれませんが、旭川市ではいじめの問題が非常に大きな話題になっています。非常に大きな問題になっていまして、先ほどの学校組織力もそうですが、考えるところがたくさんあると思います。

コロナがずっと長く続き、子どもたちのフラストレーションも、大人のフラストレーションもたまってきています。

よく考えないといけないことは、目の前にある木を見て森を見ないというか、松を見て富士山を見ないと言いますか、全体が何を目指していたのか見えなくなってくるということがあるかもしれません。

私自身は13ページにある基本理念について、常にどのような施策の一つ一つも、夢を育て、人をはぐくむ学びのまち三田という基本理念に適っているのかどうかという視点で見ていかないと、一つ一つ目標をつぶす感じでやればいいのかということではいけないと思います。

もっと言えば、生きる力も、学習指導ばかり言っていますが、実際は知徳体のバランスのとれた力であって、旭川のいじめ事件からいくと、生きる力と言っておきながら、亡くなる子どもがいるということ自体もおかしいことであり、最も重要なのは13ページにあるような基本理念というようなことが外せないと思っております。

そういう点から行くと、大学では哲学や基礎的な教養の科目が少なくなってきていますが、テクニカルなものよりは、哲学や定石が重要だと改めて思います。

そういうものが皆さんに伝わるように13ページの基本理念が市民の皆様へ伝わるような形で、書きぶりや内容を精査していただければと思います。あと一回になりますが、ご協力のほどをよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは事務局に任せたいと思ひます。

(4) 次回予定

事務局

委員長ありがとうございました。委員の皆様も長時間にわたりまして、熱心にご議論いただきありがとうございました。

次回の日程でございますが、レジュメ次第の4番に書いてありますように、9月22日19時から、南分館6階で実施できたらと考えております。ご予約のほう、よろしくお願ひします。なお次回が最後の会となります。またよろしくお願ひします。

それでは閉会の前に資料を配らせていただきます。

事務局

令和2年度事業に関する教育委員会の点検評価の資料が完成しましたので、今日委員の皆様にお配りします。これは毎年評価をしているものでして、1回目の時に各委員の皆様には令和元年度事業に対しての点検評価を配りましたが、令和2年度

	<p>の分が完成しましたのでお配りします。またご覧いただければと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>それでは閉会に際しまして、鹿嶽教育長の方よりご挨拶を申し上げます。</p>
教育長	<p>(5) 閉会</p> <p>本日もご熱心な協議をいただきまして本当にありがとうございます。本日で5回目ということで、本日はこれまで指摘いただいた部分をまとめた形で、最初から一度見ていただいて、ご協力をいただきました。</p> <p>残すところあと一回ということになりますが、いただいた今日のご意見等も含めまして、最終でもう一度精査いただきたいと思います。</p> <p>これからも5年間の三田市の教育の取組の基本となるものを、次回最終ということでまとめていただけるのではないかと考えておりますので、どうかよろしくをお願いします。</p> <p>来週の金曜日の8月27日から三田市は2学期がスタートします。最初に申し上げましたが、兵庫県もそうですが三田市も多くのコロナ感染が広がっており、また最近是全国もそうですが、10代または10代未満の子どもたちの感染が25%くらいですが感染しています。</p> <p>その子どもたちがこれから学校生活を送っていくということで、我々自身も気を引き締めて、学校での安全安心の教育が展開できるように努めてもらいたいと思います。</p> <p>今後とも委員の皆様には三田の教育について、様々な指摘をいただきたいと思いますので、どうかよろしくをお願いします。どうもありがとうございました。</p>